



かけはし

令和3年12月14日
 新宿区立東戸山小学校
 校長
 No.8

「持続可能な社会の実現に向けて」

副校長

エコプロ展2021

12月10日に、SDGsや環境についての学習の一環として、3・4年生が「エコプロ展2021」に参加してきました。エコプロ展は、企業や団体・学校など、社会にかかわるみんなが、できるだけ地球環境に負担をかけない暮らしかた方へと変えていくために開催されています。また、SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に国連でひら開かれたサミットで世界のリーダーによって決められた、持続可能な社会の実現に向けた国際社会共通の“2030年までに達成すべき17の目標”です。誰ひとり取り残さないことを理念に掲げ、先進国と途上国が丸となって達成すべき目標で構成されているのが特徴です。

子供たちは、自分の学習したテーマをあらかじめ選び、出店している企業等の方々にインタビューしながら学びを深めていきました。縦割り班での活動だったので、4年生はリーダーシップを発揮し、3年生の学習のサポートも頑張っていました。今後も、「本物から学ぶ活動」を充実させていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



御礼

学芸会では、平日開催の中、多くの保護者の皆さまに御来校いただき、ありがとうございました。子供たちを温かく見守り、多くの面で支えていただいたこと感謝申し上げます。

東戸山小学校では、安全を最優先として、「新しい生活様式」の中で「新しい教育活動の形」を工夫しながら活動を進めてまいります（これもSDGsの取組の一つです）。今後ともよろしく願いいたします。



【12月行事予定】

13	月	・全校朝会	SC
14	火		SC
15	水	・避難訓練 ・クラブ⑨	
16	木	・個人面談① ・校外学習「池袋防災館」(4) ・プログラミング学習(6) 下校 14:10	
17	金	・個人面談② 下校 14:10	SC
18	土		
19	日		
20	月	・全校朝会 ・個人面談③ 下校 14:10	SC
21	火	・個人面談④ 下校 14:10	SC
22	水	・個人面談⑤ 下校 14:10	
23	木	・給食終 (給食あり) ・まなびの教室個人面談 ・個人面談(予備日) 下校 13:15	
24	金	・終業式 (給食なし) 下校 12:30	SC
25	土		
12/26(日)~1/7(金) 冬季休業日			
【1月】			
8	土		
9	日		
10	月	=成人の日=	
11	火	・始業式 (給食なし) ・安全指導日 下校 12:30	SC
12	水	・新宿区学力定着度調査(2~6) ・給食始 (給食あり) (1・2校時) ・委員会⑩	

※12/29~1/3は、学校閉庁期間です。

教職員は、不在になります。

※感染状況等により今後も行事等の変更があり得ることをご了承ください。

《お願い》

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、お子様のことで、不安などありましたら、担任または、校長・副校長にご連絡ください。

問い合わせ先：東戸山小学校 副校長 川路美沙
 電話番号：03(3205)9504

《お知らせ》 事務職さんが、11月11日をもって退職されました。短い間でしたが、お世話になりました。ありがとうございます。

「いざ高尾山へ」(5・6年生)

宿泊学習の代わりに5、6年生合同で高尾山に行きました。7時 10 分集合というとても朝早い時間ではありましたが、全員5分前に集合することができました。

高尾山まで遠い道のりでしたが、通勤・通学している人たちに配慮しながら電車に乗ることができました。さすが高学年です。駅構内を歩くときも場に応じた判断ができていました。

高尾山に到着してからは、5、6年のグループに分かれて行動しました。最近は他学年交流の機会が減っていたため、とても貴重な体験となりました。6年生は5年生に寄り添い、5年生は6年生を尊重し、学年差、上下関係を感じさせない一体感が生まれていました。

自分の学年だけで過ごしているとなかなか実感しづらいこともあります。他学年交流でしか学べないこともありました。学校での自分の現在地、役割意識や責任感を自覚したはずです。今の5、6年で過ごせる時間はあと少し。大切にしましょう。

「新宿御苑に行きました」(1・2・3年生)

「遠足」と聞いただけでわくわくします。担任から話を聞きガッツポーズをする子もいました。普段学校でたくさんのことを学んでいる子どもたちですが、学校の外でも様々なことを学びました。

事前にしおりを持ち寄り「ここに名前を書くよ」と3年生が中心となり班で顔合わせをしました。新宿御苑までは集団のきまりや交通ルールを守りながら歩いて行きました。芝生広場では「どこで食べる?」「次は何をして遊ぶ?」と班の仲間で相談したり話し合ったりしました。学校に帰る途中で地域の方に「こんにちは!」「ただいま!」と大きな声で言う子がいました。その姿を見てとても頼もしく思いました。

遠足で学んだことを、普段の生活や次回の遠足でも活かして欲しいです。新宿という地域の中で子供たちは日々仲間と一緒に学んでいます。

「伝統文化理解教育～落語を通して～」(4年生)

11月12日(金)に春風亭柏枝さんらをお招きしての落語教室があり、4年生の子どもたちが参加しました。落語が始まるまでは、嘶家さんより説明がありました。その一つに「めぐり」に書いてある寄席文字があります。太筆で余白が少なく書かれており、お客さんが大勢入って、客席に空いている席がない様にとの願いが込められているのだそうです。座布団の向き一つとっても思いが込められていることが分かり、子どもたちも感心して聞いていました。「寿限無」では、みな大笑い。とても貴重な体験となりました。

「来校される時のお願い」

感染予防の取り組みとして、ご来校いただいた方に、「受付」で以下のことをお願いしております。

- ①学校敷地内でのマスクの着用
- ②アルコールで手の消毒
- ③サーモグラフィーカメラによる自動検温
- ④来校者名簿への記帳

ご理解の上、ご協力の程、よろしくお願いたします。

咳や発熱などがあり、体調がすぐれない時は、来校をお控えください。

「未来の可能性の方へ」

生活指導主任

一人ひとりの子どもには、それぞれよさもあれば課題もあります。課題ばかりで埋もれている子なんていないし、逆に、よさで満たされている子なんていうのもいません。両方あるからこそより楽しいはずです。よさがあればそれが自信につながるし、他に認められもします。また、課題があればこそ次へのめあてがもてるし、チャレンジもできます。

子どものある一面を目の当たりにした時、その心をすぐに判断したり、決めつけたりするのはよくないのかもしれない。「これからどうなっていくのだろう」と未来の可能性の方に注目する方が、よりよい見方であるような気がします。速断せずに、期待しながら見ていくことによって、今まで分からなかった可能性も明らかになります。そして、実際にその可能性の方へと人間は変化していくものです。

よりよい方向に導いていくための“道しるべ”というのは、未来の可能性の方に注目し、そこから生じてくるものを尊重していくうちに、自ずと見えてくるものであると思います。それこそ、本当に必要な“道しるべ”であるはずですよ。